

# 首都圏及び関西圏への販路拡大セミナー

近年、十勝の生産者や食品関連企業においては、農畜水産物の消費拡大に向け、首都圏や関西圏で開催される商談会・展示会の機会を通じ、十勝製品の販路拡大に積極的に取り組んでいる状況にあります。そこで、十勝総合振興局では、十勝製品の販路拡大のための販売戦略の一助となる内容で、東西を代表するカリスマバイヤーによる講演と、地元の食品関連企業を交えたパネルディスカッションを開催します。皆様のご参加をお待ちしております！

- ◇ 開催場所： とかち館(帯広市西7条南6丁目2番地)
- ◇ 開催日時： 平成26年 2月21日(金) 15:00 ~ 18:00
- ◇ 定 員： 150名(参加費無料)

## 講 演 (15:00 ~ 16:30)

【テーマ】  
「首都圏での販路拡大に向けたヒント」



【講師】

(株)オフィス内田

取締役 内田 勝規 氏

1981年東武百貨店入社後、池袋店開発企画担当、新規事業、CI委員会事務局担当、池袋店増床プロジェクトGT担当等を経て、2001年から販売促進部の催事担当に就任。就任当初、年間1億2千万円程度であった同社の北海道物産展の売上げを年3回の開催で約16億円まで増加させるなど、「北海道物産展といえば東武」といわれる看板イベントに育て上げた。2010年5月独立し、株式会社オフィス内田を設立。

【テーマ】  
「売れる商品づくり  
～消費者は何をもとめているか」



【講師】

(株)阪急阪神百貨店

販売促進部長 薬師寺 雅文 氏

1972年阪急百貨店(現 阪急阪神百貨店)入社。外商部、インクス部、2001年販売促進部店内催事計画部部長に就任。阪急百貨店の催事で全国各地を訪ね歩き、旬の魅力的な品々を発掘。「熱烈バイヤー」として数多くの物産展を手掛け、売上を高伸させる。特に北海道物産展では、1週間で3.8億の百貨店の最高売上記録を作る。現在 北海道食のサポーター、熊本お土産プロジェクト委員ほか関連事業にもかかわる。

主 催

北海道十勝総合振興局

共 催

(株)北洋銀行、帯広信用金庫

後 援

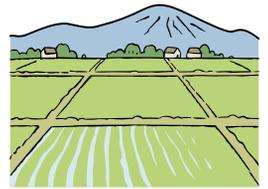
公益社団法人とかち財団、帯広商工会議所、フードバレーとかち推進協議会  
一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部



フードバレーとかち

# パネルディスカッション（16:45～18:00）

## 【テーマ】「十勝を売り込むには、今何が必要か！」



### 【パネリスト】

内田 勝規 氏	(株)オフィス内田 取締役（プロフィール表面）
薬師寺 雅文 氏	(株)阪急阪神百貨店 販売促進部長（プロフィール表面）
新村 浩隆 氏	(有)十勝しんむら牧場 代表取締役社長 新村牧場の4代目。酪農学園大学卒業後、別海、ニュージーランド、オーストラリアにて放牧酪農を学ぶ。帰国後、新村牧場へ就農。繋ぎ飼育から放牧酪農に転換。2000年4月ミルクジャム製造、販売。同年6月、有限会社十勝しんむら牧場設立、代表取締役に就任。現在に至る。
長岡 淳一 氏	(株)ファームステッド 代表取締役 2003年帯広市で有限会社フレイバーを設立。その後、新世代の農業ウェアを提案するアパレルプロジェクトを推進。2012年、農業をデザインして地域を発信する「とかちデザインファームプロジェクト」をスタート後、第一次産業のブランディングデザインに取り組み、2013年株式会社ファームステッドを設立。デザインで農業と地域を発信するモデルを作るため、地域振興プロデューサーとして活躍中。2012年グッドデザイン賞受賞。

### 【コーディネーター】

林 美香子 氏	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授 北海道大学大学院農学研究院客員教授 北海道大学農学部卒業後、札幌テレビ放送アナウンス部入社。退社後、キャスターとして活動。ラジオのパーソナリティなど放送の仕事を中心に、「食と農」をテーマとした執筆やシンポジウムのパネリスト、コーディネーターとして活躍中。 著書「農村へ出かけよう」「農業・農村で幸せになろうよ」など多数
---------	--

## 首都圏及び関西圏への販路拡大セミナー参加申込書

FAX番号: 0155-25-7756 申込期限 2月14日(金)

貴団体名			
住 所			
T E L		F A X	
メールアドレス			
	部署・役職名	参加者御芳名	

【お問い合わせ：十勝総合振興局産業振興部とかち食推進室（電話：0155-26-9039）】